

元旦 荒浜の初日の出



餅つきと「あるもち米をめぐる物語」



仙台市若林区荒浜。
震災から七年。
今でも「行っていいのかわからない」というお話を聞きます。
来てほしい、そう思いながら活動している人たちがいます。
来て良かったと話す人たちがいます。
今の荒浜の活動をまとめてみました。
今の荒浜はどんな風に見えますか？



今回は！
美術作家の
佐竹真紀子さん荒浜オススメの一品
「海辺の写真展」

2017年の夏に開催された、「海辺の写真展」。砂浜にならんでいるのは、荒浜のカメラおじいちゃんこと、佐藤豊さんが撮影なさったお写真です。浮き玉、砂蟹、海鳥、花。そして、色とりどりの風景たち。ひとつひとつ額に入り、流木に凭れながら、訪れる人を迎えてくれました。さまざまな荒浜へと繋がるたくさんの窓がちりばめられているようで、眺めていると染み入るように優しい気持ちになります。日々、まちにまなざしを向ける方々がいらっしやるといこと。何よりの宝物です。



一佐竹さん、ありがとうございます。次の方の紹介をお願いします！
次回は長南こういちさんに登場いただきます。お楽しみに!!

☕ コーヒーのお時間です ☕

田澤紘子さんのお気に入り

私は、荒浜の皆さんのとても人間らしい、感情的なところが素敵だなと思います。「譲れないこと」をしっかりと持ち、ちゃんと言葉で伝えることを荒浜の方々は怠りません。時に言い合いになりハラハラしますが、言葉を重ねることで互いに歩み寄り、その後すんなり仲直りします。それができるのは、長い時間ともに過ごした中で築かれた信頼があるからだと思います。そうした皆さんの「荒浜らしいふるさとを取り戻したい」という素直な気持ちを応援したいと思います。



田澤紘子
(たざわ・ひろこ)
1982年
山形県あつみ温泉生まれ
(所属・団体)
せんだい3.11
メモリアル交流館
スタッフ

荒浜 1月の様子

1/19

**JT NPO 応援プロジェクト
中間報告会**
(荒浜再生を願う会 & 3.11 オモイデア
ーカイブ@里海荒浜ロッジ)



荒浜再生を願う会の活動の中間報告が行われました。

1/11

**ロジャー大葉のラジオな気分
in 荒浜**
(海辺の図書館 庄子隆弘さん
@海辺の図書館)



突然の吹雪の中、ラジオカー木曜日担当の林田悟志さんが取材に来てくれました。

1/1

**海辺の銀河鉄道PJ
おぼろ汁お振る舞い**
(WE SCHOOL 金さん・耕栄さん
@里海荒浜ロッジ)



1/21


**餅つきと
「あるもち米をめぐる物語」**
(荒浜のめぐみキッチン
@ファイブブリッジ)



都市部と荒浜を食や地域資源で結ぶ活動を行う「荒浜のめぐみキッチン」の今回のイベントは Vol.2 でも紹介した、復活した餅米ハツキネモチが主役でした。

1/11

月命日のお茶っこ
(柳沼さん@里海荒浜ロッジ)



荒浜にある様々なものを活かした作品を子供たちと一緒に作るWSを行う柳沼さんが月命日に荒浜を訪れる方がいるなら、お茶っこを開催。

1/1

2018年、海辺の銀河鉄道も始動。元旦の初日の出を見ようと訪れた方に涌谷町の郷土料理“おぼろ汁”をお振る舞い。大鍋2つで皆を温め尽くしました。記念さつぽも無事発行。そして前日からの年越し組は元気に風あげを！



1/28

僕らのお茶っこ
(平野さん・小林さん・小笠原さん
@里海荒浜ロッジ)



貴田さんのお漬物にお茶があつて、みかんとお餅とさつまいもをじっくり焼きながら話をしたら笑いが絶えない。三人のお茶っこ空間はどこか懐かしい。

1/14

アラハマ・リポーン
(荒浜再生を願う会@里海荒浜ロッジ)



2018年最初のアラハマ・リポーンが始まりました。空高く上がる風を見上げながら海岸清掃、具をたっぶり乗せて焼くピザ。貴田さん自家製の味噌が美味しい汁物。「今年もよろしく」そんな声が賑わいの中で聞こえてきました。

1/8

2018 復興・減災フォーラム
(海辺の図書館 庄子隆弘さん
@関西学院会館レセプションホール)



【写真提供：関西学院】

「災害と地域の消長〜いかに『復興知』を伝えるか」というテーマでシンポジウムが行われ、荒浜と海辺の図書館の活動を紹介しました。

NEXT 2018年2月11日
アラハマ・リポーン
(荒浜再生を願う会@里海荒浜ロッジ)

1/22

産経新聞 “被災地を歩く”
海岸清掃で地域再生「荒浜に再びにぎわいを〜アラハマ・リポーン」が掲載
1/14 この日記者の高梨さんが1日中、丁寧にひとりひとりに取材していました。たくさんコメントを記事にされました。

海辺の図書館メンバーとして荒浜を訪れるようになって、沢山の方が荒浜で活動している事を知りました。訪れる方をお振る舞いでもてなしたり、イベントを行ったり、歴史と文化を再現してみたり。また豊かな自然の中で体を動かしたり、モノを見つけて再生してみたり。そういった活動で人が繋がっていく荒浜の様子を見てきました。それを知って欲しいと思い活動の様子をまとめてみました。2018年1月は『繋げ続ける、そして次の取り組みへ』そんな1ヶ月だった気がします。

荒浜の活動は誰でも参加できます！

これまで荒浜で活動してきた皆さまのご紹介：荒浜再生を願う会 3.11 オモイデアーカイブ チーム荒浜工作部 せんだい 3.11 メモリアル交流館 震災遺構仙台市立荒浜小学校 新井研究室 NPO 法人育自の魔法 ウクレレサポート協会 荒浜めぐみキッチン アグリパートナーズ CDP WE SCHOOL 他
発行：海辺の図書館 HP: <http://umibe.org/> mail:112yunbo@gmail.com TEL: 080-1019-3631(館長庄子)